



資料 7

中国・包商銀行に対する 公的管理実施について

2019年6月18日

キャノングローバル戦略研究所

岡崎 久実子



キャノングローバル戦略研究所
The Canon Institute for Global Studies

➤ 2019年5月24日、中国人民銀行(PBC)と中国銀行保險監督管理委員會(CBIRC)は、包商銀行株式有限公司(本店:内モンゴル自治区包頭市。以下、包商銀行)に「深刻な信用リスクが生じたため」、同行を公的管理下に置く(期間1年)と表明。

1. 公的管理期間

2019年5月24日～2020年5月23日

2. 公的管理の枠組

PBCとCBIRCが関連部門と協力して、接管管理組織(「接管組」)を立ち上げ。

主任(組長):周学東(PBC弁行庁主任、前金融安定局長)

副主任(副組長):李国荣(CBIRC幹部、元四川省銀行保險監督管理局副局長)

3. 公的管理のイメージ

5月24日より、接管管理組織は包商銀行の経営管理権を全面的に行使し、同行の業務を中国建設銀行に委託する。

- 包商銀行は、1998年に設立された包頭市商業銀行を前身とする都市商業銀行。
- 財務報告を公表していた2016年末時点の総資産残高は4,316億元（中国の商業銀行中38位、シェア0.2%）。

【包商銀行の概要】

設立：1998年12月、包頭市商業銀行として設立。2007年9月、現名称に改称。

総資産残高：同行は2017年以降、財務報告を公表していない。

2016年末時点の総資産残高は4,316億元

（中国商業銀行中38位、都市商業銀行中14位<The Banker 2017 July>。当時の商業銀行総資産残高合計に占めるシェアは0.2%、都市商業銀行中シェアは1.5%）。

貸出残高：2016年末 1,518億元

預金残高：2016年末 1,936億元 他行預金及びインターバンク負債残高：858億元

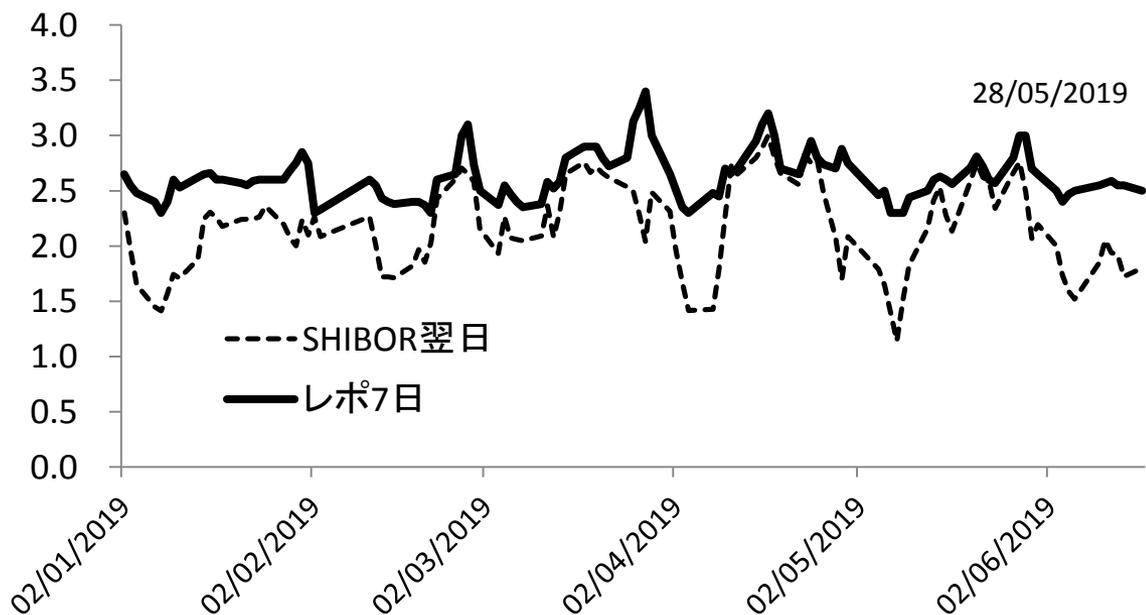
主要株主：包頭市太平商貿易集団、包頭市大安投資、包頭市精工科技等（2016年報）。PBCスポークスマンは、「包商銀行の大株主は明天集団（トゥモロー・グループ）で、同行の89%の株式を所有」と説明（6/2日、PBCホームページ）。

営業拠点：内モンゴル自治区内に14支店、寧波、深セン、成都、北京にも支店を設置。サブブランチを含む営業拠点は291。

従業員数：約8千人。

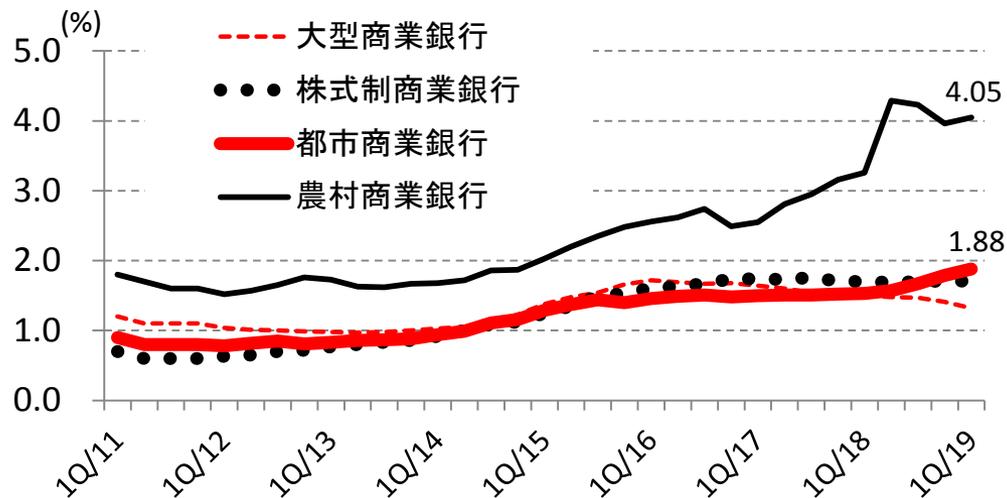
- 公的管理移管報道の直後は、中国のインターバンク市場に動揺がみられたものの、PBCによる資金供給オペレーション等を受け、数日で落ち着きを取り戻している。
- ただし、同国中小金融機関に対する懸念は完全には払拭されていない模様。

図1: 中国インターバンク市場の金利動向



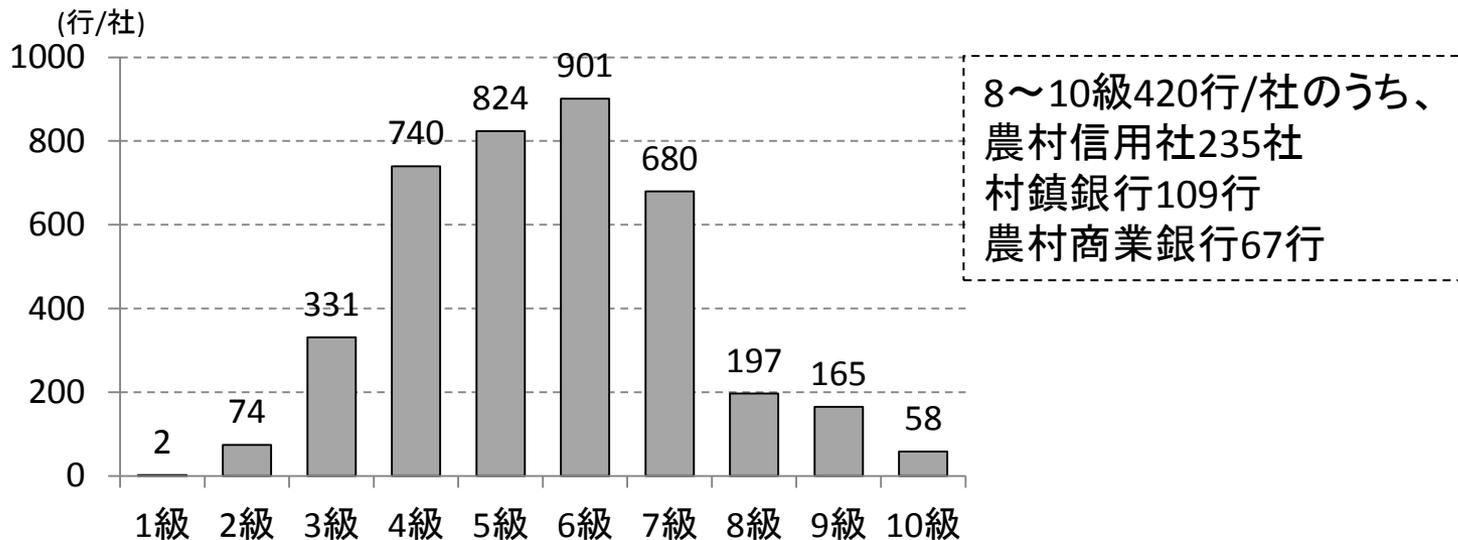
資料出所: CEIC China Premium Database

図2: 中国商業銀行の不良債権比率の推移



資料出所: CEIC China Premium Database

図3: 中国人民銀行による金融機関のランク付け



資料出所: 中国人民銀行「中国金融安定報告2018」

表1: 中国主要上場行の税引前利益の推移

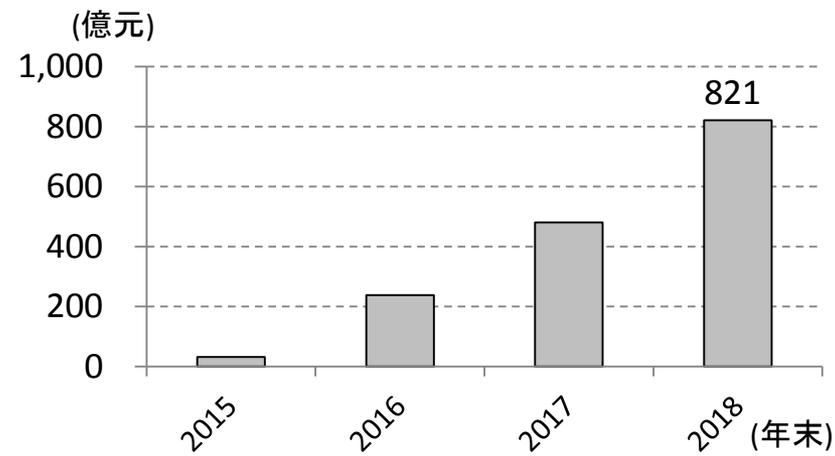
(前年比、%)

	主要 上場行 14行	大型 商銀5行	株式制 商銀9行
98-02年平均	7.7	10.2	2.9
03-07年平均	68.0	73.9	49.1
08-12年平均	21.7	19.5	31.0
13-17年平均	4.6	3.7	7.4
15年	1.2	0.1	4.4
16年	-0.2	-1.4	3.2
17年	1.7	1.4	2.6
18年	3.3	3.1	3.9
19年第1四半期	4.7	2.9	9.4

(注)04年以前の株式制商業銀行は浙商銀行を除く8行ベース。

資料出所: 各行財務報告

図4: 中国預金保険基金積立残高の推移



資料出所: 中国人民銀行